

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	予算編成事務	会計名称	一般会計		担当課	総務課	
		予算科目	2 款 1 項 4 目	事業番号	120	所属長名	坪内圭也
事業評価の有無	<input type="checkbox"/> 評価対象事業 <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	橘かつら	
法令根拠等	地方自治法・地方財政法・伊予市財務会計規則				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	参画協働推進都市の創造 効率的で透明性の高い行財政運営					【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	合併後10年で膨張した財政規模を縮小させ、財政の効率化・適正化を進める。						
事業の対象	市職員	事業の目的		限られた財源で、計画的でより効果的な行政運営を行うための予算編成を行う。			
事業の内容 (整備内容)	経常的事業については過去の実績を参考にしたゼロベースからの積み上げとし、法改正や総合建設計画等に基づく新規事業については、財源の確保や事業内容の精査を行った予算編成を行う。		評価事業としないこととした理由		専ら行政内部事務であるので評価対象外とする。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28 年度実績	29 年度予定	9月末の実績	29 年度実績
直接事業費	1,323	1,492	0	0	0	1,194	会計数 (一般会計・特会)	会計	14	14	14	14
財源内訳						0						
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0	補正回数 (一般会計)	回	11	4	6	9
一般財源	1,323	1,492	0	0	0	1,194						
職員の人工 (にんく) 数	0.60	0.80				0.80						
1人工当たりの人件費単価	8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費+人件費	6,175	7,906				7,608						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		需用費							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	5年間の合計		
					1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500		

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	交付税の合併算定替えによる縮減に対応し健全な財政運営を行うため、職員の意識改革を目的として全職員を対象に財政説明会を実施した。また管理職による財政改革プロジェクトチームを設置し、チーム会議で検討を重ね、市全体で予算規模の縮小に努める取組を行った。当初予算編成時期を例年より3ヶ月前倒しで行い、財政ヒアリングを2回行う等内容精査に努めた。		
一次判定	事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する	判断の理由	専ら行政内部事務であるため。

二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 今後も財政改革プロジェクトチームを継続し、庁内全体で予算規模・配分の適正化を図る体制を維持する必要がある。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	二次判定の内容を踏まえ見直すこと。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。		
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。		
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。		